

在宅取組型（小学校）

学校名等	養老町立池辺小学校
実施日時	平成30年7月22日（月）～31年2月末日
会場	池辺小学校
参加人数	児童（163人）・保護者（123人）
学習課題（分野）	子どもの居場所や役割のある家庭づくりをしよう（家族）
運営者の願い	継続した在宅型の活動を通して、家庭で子どもの居場所を確保すること、家庭での役割を担って自己有用感を体感できる家庭作りの啓発を目指して取り組んだ。夏休みには「1家庭1ボランティア」、秋には「話そう！語ろう！わが家の約束」、2月には「ハグ週間」を位置付けて取り組んだ。

学習の内容

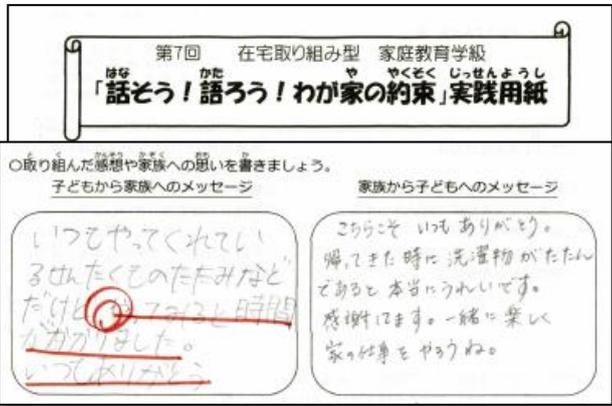
<「1家庭1ボランティア」運動>

毎年、夏期休業日を利用して、PTA母親委員会と合同で進めている。家庭での役割を担うことで有用感を体感し、家庭に居場所を得られることを目指した。

「誰かのために何かができる」を合言葉にして、自分のできることを自分で決めて取り組み、家庭から「きらり」見つけをした。家族から「助かったよ、ありがとう。」と感謝の気持ちを受け取ることで、家庭で仕事を継続して行うきっかけとなった。仕事の大切さを体感する機会となり、キャリア教育にもつながった。



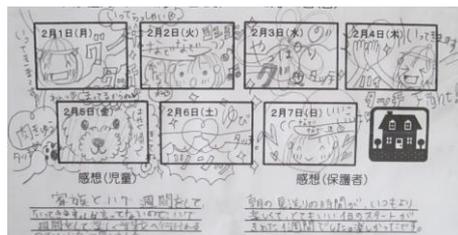
<「話そう！語ろう！わが家の約束」運動>



家庭教育学級の活動の合間の期間を選んで、9月末から10月の1ヶ月間、取り組んだ。実践をするにあたって、「子どもに約束させるなら親も同じように約束して取り組もう」と意図して取り組んだ。各家庭の「わが家の約束宣言」を立て、第3月曜日と「8」のつく日を実践日とした。取組終了後は、「子どもから家族へのメッセージ」「保護者から子どもへのメッセージ」欄にたくさんの「きらり」見つけがあり、「1家庭1ボランティア」運動と同様に、自己有用感を体感する期間となった。

<「ハグ週間」運動>

毎年、2月中旬に1週間ほどの期間で位置付けて取り組んでいる。本年度も、2月に予定している。期間中は、家族全員がコミュニケーションを取ることを心がけると同時に、ノー・テレビ、ノー・ゲームに取り組む家庭も多い。取組の記録は、全員分を体育館に掲示し、3月初旬に行われる「ゆずり葉の会」で保護者同士も交流できるようにしている。



朝の見送りを心がけると決めた家庭は、子どもは「1日を楽しく始められた」、家族は「朝の見送りの時間がいつもより楽しくて、とてもいい1日のスタートがきれた」と書いていた。

「きらり」見つけの位置付け

学校で行っている「きらり」見つけを、家庭教育学級でも位置付けている。

親子で活動した後は、双方の「きらり」見つけをしている。親子料理教室では、自分も一緒に料理をすることで家族の仕事の大変さを実感し、「きらり」として感謝の言葉を伝えていた。保護者も、「手伝ってくれると、とても助かるよ。ありがとう。」と伝えられ、児童は家庭でのお手伝いへの意欲を高めた。



双方向の取り組み 親も一緒に約束をする

「話そう！語ろう！わが家の約束」では、子どもだけに約束を作らせるのではなく、親も子どもの約束を実行できるように取り組んだ。

活動後には、互いの「きらり」見つけを行った。子どもは「いつもありがとう。」と書き、母親は「こちらこそ、いつもありがとう。本当にうれしいです。」と書くなど、児童の自己肯定感につながっている。

